

イタイイタイ病の教訓を世界へさらに発信していきます。

資料館では、イタイイタイ病の教訓を世界へ発信するため、海外からの来館者を積極的に受け入れております。

2月12日(月・振休)、マレーシアより保健衛生を専門分野とした行政官や医師ら12人が来館し、イタイイタイ病の恐ろしさとその克服の歴史について学びました。

一行は、英語版のガイダンス映像を視聴した後、展示室内を見学。その後、小松雅子さんの語り部講話を通訳を介して聴講し、患者であった祖母の闘病生活の様子やイタイイタイ病対策協議会の初代会長として患者救済に生涯を捧げられた父親の当時の様子のお話に真剣に耳を傾けていました。

語り部講話終了後の質疑の時間では、カドミウムが体に与える影響など、主に医学的な質問が多く見受けられました。

このように、日本語と英語という言葉の違いはありましたが、悲惨な公害を二度と引き起こしてはならない、後世にきちんと伝えていかなければならないという小松さんの思いは、一行にはしっかりと伝わっているようでした。

今回の見学を通して、イタイイタイ病の恐ろしさのほか環境問題の重要性、さらには健康の大切さを理解していただけたのではないのでしょうか。

今後も、資料館では、イタイイタイ病の教訓を海外へ発信していくため、引き続き、海外からの来館者の積極的な受け入れや情報発信のための企画を行ってまいります。



英語版ガイダンス映像視聴



展示室（水系図）見学



小松雅子さんの語り部講話

資料館 2 階「資料閲覧室」にもぜひお立ち寄りください！

資料館では、開館以来あらゆる機会において、1 階の展示コーナーをメインに多くの方々に紹介してきましたが、2 階にある「資料閲覧室」について、ご存知ではない方もおられるかもしれません。今号では、資料閲覧室について詳しくご紹介いたします。

資料館のコンセプトは、見学を通じて「イタイイタイ病の恐ろしさ」を知り、「克服の歴史」を学び、より多くの方に「環境と健康を大切にするライフスタイルの確立や地域づくり」に取り組んでいただくための情報を発信していくことです。

資料閲覧室では、1 階の展示室を見学され、イタイイタイ病に対する興味や関心を持たれた方が、さらに知識を深めていただくための図書や映像などを整備しています。図書の種類は、イタイイタイ病を含む四大公害病のほか、その他公害に関する図書、環境関係、とやまの郷土史、小学生などにも対応した児童書など約 1,800 冊で、全て閲覧が可能となっています。

このほか、月刊誌などの定期購読誌やイタイイタイ病に関する詳細情報などを検索できる専用端末機も 3 台あります。この端末では、映像用の視聴設備も兼ねており、イタイイタイ病の患者家族などの証言映像やガイダンス映像などがご覧になれます。

さらに、これまでに来館された学校から、子どもたちが資料館見学後に学習成果としてまとめた資料やレポートなども広く紹介しています。

(開館以来、延べ 86 校 (うち今年度 (1 月末現在) においては 10 校) より提供いただきました。)

資料館の見学の際には、ぜひ資料閲覧室にも足をお運びいただき、見聞を広めていただければと思います。



資料館 2 階「資料閲覧室」



来館された学校より提供された
「学び」の成果 (感想文・壁新聞など)